



1月のゆうゆうカフェは27日にOPENしました。今回は、2名の方が利用して頂きました。市内にご夫婦でお住まいで、元々は岐阜におられました。娘さんが飯田に嫁いだのをきっかけにこちらに移住されたそうです。

飯田ではご夫婦で喫茶店に行ったり、市内をお散歩されたり、毎日をゆったりと過ごされています。

「こんな良いところがあって」と少し驚かれた様子でしたが、楽しくスタッフとおしゃべりされていました。またのご利用をお待ちしています！



今月のおやつ



小松菜の蒸しケーキ

認知症の周辺症状への対応ワンポイント

「幻覚(幻視・幻聴)」(月刊デイ2019.2月号より抜粋)

幻覚とは、実際にはないものがあるかのように見える幻視、実際にはない音が聞こえるように感じる幻聴などの症状のことを言います。その中でも認知症の症状の中では幻視があらわれます。

幻視として見えているのは、子供や知らない人が多いようです。幻視は朝か夕方～夜にかけて見える場合が多いようです。認知症の中でもレビー小体型といわれる方たちは比較的短期記憶が良いので、幻視が見えても上手に付き合っている方が多いようですが、幻視があること

で明らかに混乱している、家族が対応に困っている場合には対応方法を考えていかなければなりません。対応としては①手で払いのけて一時的に幻視を消す。②幻視を否定もせず肯定もせず、幻視であることを伝えて徐々に理解していただく。③レビー小体型認知症の場合は、パーキンソン症状を伴うことが多く、運動障害に対して薬が投与されますが、通常の投与量でも副作用が出てくる場合があります。主治医の先生と相談し服薬量の調整を行くこともよいでしょう。

幻視は声かけやちょっとした対応の工夫で、本人の混乱を少なくし、家族も対応方法に慣れていくことができるようです。



ゆうゆうカフェ 1月のスタッフです。今月もご利用ありがとうございました。新年を迎えてまた新たな気持ちで皆様をお迎えしようと思えます。またのお越しをお待ちしています！

〈ゆうゆうカフェ今後の予定〉

毎月第4日曜日開催

【次回開催日】

2月24日(日) 午後1時～午後3時

3月24日(日) 午後1時～午後3時

【ゆうゆうカフェ問い合わせ先】

介護老人保健施設ゆうゆう

認知症カフェ事務局(担当:今村、城下)

電話 0265-53-6048

